

## 2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221531075	公衆栄養学実習	上島寛之		専門	1	必修	3後期

## 科目の概要

公衆栄養学は、地域や社会集団を対象として栄養上の問題点把握と改善及び疾病予防に重点を置く学問である。本科目では、DP1・2・3に記載があるように、自立した社会人として常に自己研鑽に取り組み、疾病・疾病予防・食育に関する専門知識・技能を身に付け、豊かな食生活と健康を創造することで社会に貢献することができ、建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得して、職場と地域の人々と協働して課題を解決していくことができる管理栄養士の育成を目指す。具体的には、地域や社会集団における健康・栄養に関する情報を収集・分析することで問題点を見出し、それらを科学的根拠に基づき解決していくための実践的な能力を養う。班毎に公衆栄養プログラムの策定を行い、内容及び実施の可能性についてプレゼンテーションを行い評価することで、人々の日常生活を健康の面から支援することのできる人材を育成する。

学修内容	到達目標
① 食生活・栄養状態の調査および評価 ② 既存資料の活用 ③ 公衆栄養プログラムの計画 ④ 公衆栄養プログラムの実施（プレゼンテーション） ⑤ 公衆栄養プログラムの評価 以上5点を中心に学ぶ	① 食生活・栄養状態の調査および評価について事例をあげる(知識を活用する)ことができる ② 既存資料から、健康・栄養状況の課題を1つ以上読み取る(知識を活用)ことができる ③ 対象集団を想定した公衆栄養プログラム案をグループで作成(獲得した知識を用いた解決)できる ④ 上記プログラムについて他者に説明し実施(解決)できる ⑤ 公衆栄養プログラムの評価について説明(活用)できる

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	与えられた課題にむけて自らアクションを起こす
	働きかけ力	
	実行力	計画だけでなく、具体的な行動を実施する
考え抜く力	課題発見力	授業内の課題から「自らの課題」を見つけ出す
	計画力	
	創造力	既存の理論や現状をふまえた上で、自らのアイデアを付加した意見を考える
チームで働く力	発信力	自らの考え・アイデアを相手理解できる形で伝える
	傾聴力	相手が伝えたい内容と聞き取った自らの理解をすり合わせる（＝きちんと確認を取る）
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	ルール設定の意味を考え、適切に設定する
	ストレスコントロール力	

## テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。プリントを適宜配布する  
 参考書：わかりやすいEBNと栄養疫学 佐々木 敏 著（同文書院）

## 他科目との関連、資格との関連

「公衆栄養学実習」は専門分野の公衆栄養学分野の科目の一部であり、「公衆栄養学I」をはじめとした科目で獲得した知識・技術を活用する。また、「公衆栄養学実習」は、同時期に開講する「公衆栄養学II」と併せて学修することでより理解を深める。

資格との関連：栄養士、管理栄養士、栄養教諭一種

学修上の助言	受講生とのルール
内容は「公衆栄養学I」にて学習した内容を応用するものです。これまで学習した内容が記載された教科書やノートをぜひ活用して臨んでください。	実習は普通の座学とは異なり、グループワークが中心となります。これは今後社会人として自立するためにも大切な経験となります。各人が責任を持ちつつも、実習を楽しむ気持ちをもって実習に臨んでほしいと思います。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	50	①		✓	学期末試験としてレポート試験を実施する。「評価基準表（ルーブリック）」を用いて、レポートを評価する。レポート作成に関する説明の際に「評価基準表（ルーブリック）」を掲示する。なお、提出期限までにレポートを提出しなかった場合は、当該評価配点は0点とする。
				②		✓	
				③		✓	獲得活用解決の評価割合は以下の通りとする。 知識の獲得（食生活・栄養状態の調査および評価、既存資料、公衆栄養プログラムの知識）：10%
				④		✓	知識の活用（食生活・栄養状態の調査および評価、既存資料から問題点を抽出できる）：45%
				⑤		✓	知識の解決（抽出された問題点を解決するための具体案が提案できる）：45%
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓	相互評価を点数化し20点、教員の評価は20点の40点満点とする。なお、プレゼンテーションの相互評価は、他を評価し、他から評価されることにより、自班及び自己の優れた点と問題点をよく認識できることが目的である。評価項目については、プレゼンテーションの事前に発表する。			
		②	✓				
		③	✓	獲得活用解決の評価割合は以下の通りとする。 知識の獲得（食生活・栄養状態の調査および評価、既存資料、公衆栄養プログラムの知識）：10%			
		④	✓	知識の活用（食生活・栄養状態の調査および評価、既存資料から問題点を抽出できる）：45%			
		⑤	✓	知識の解決（抽出された問題点を解決するための具体案が提案できる）：45%			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性） 与えられた課題にむけて自らアクションを起こすことができる （実行力） 計画だけでなく、具体的な行動を実施することができる （課題発見力） 授業内の課題から「自らの課題」を見つけ出すことができる （判断力） 既存の理論や現状をふまえた上で、自らのアイデアを付加した意見を考えることができる （発信力） 自らの考え・アイデアを相手が理解できる形で伝えることができる （傾聴力） 相手が伝えたい内容と聞き取った自らの理解をすり合わせるすることができる （状況把握力） 現状の課題と展望について整理できる （規律性） ルール設定の意味を考え、適切に設定することができる 例）6回以上の欠席は0（放棄）判定となるルールを守るなど		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>以下の基準を満たすものとする（S:5項目、A:4項目）</p> <p>① 食生活・栄養状態の調査および評価について事例をあげることができる</p> <p>② 既存資料から健康・栄養状況の課題が読み取ることができる</p> <p>③ 対象集団を想定した公衆栄養プログラム案をグループで作成できる</p> <p>④ 上記プログラムについて他者に説明できる</p> <p>⑤ 公衆栄養プログラムの評価について、説明できる</p>	<p>以下の3項目の基準を満たすものとする</p> <p>① 食生活・栄養状態の調査および評価について事例をあげることができる</p> <p>② 対象集団を想定した公衆栄養プログラム案をグループで作成できる</p> <p>③ 上記プログラムについて他者に説明できる</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」 公衆栄養学実習の目的 および進め方について 学ぶ	講義と実習、グループ ワークとディスカッ ション(google meet)	実習出席後の実施内容 を提出する	(予習) 公衆栄養学 I で学修し た内容を確認し、本科 目のシラバスを読んで おく (復習) グループで実習の流れ を確認し、要点をまと めておく	15	課題発 見力 傾聴力
2	「地域・社会集団にお ける健康状況の実態把 握と課題分析①」 食生活・栄養状態の調 査を実施し、解析と評 価コメントの作成を行 う	講義と実習、グループ ワークとディスカッ ション(google meet)	実習出席後の実施内容 を提出する	(予習) 食事調査法の特徴を把 握しておく (復習) 配布資料を確認し次回 の実習に備える	15	主体性 発信力 傾聴力
3	「地域・社会集団にお ける健康状況の実態把 握と課題分析②」 食生活・栄養状態の調 査を実施し、解析と評 価コメントの作成を行 う	講義と実習、グループ ワークとディスカッ ション(google meet)	実習出席後の実施内容 を提出する	(予習) 食事調査法の特徴を把 握しておく (復習) 配布資料を確認し次回 の実習に備える	15	主体性 実行力 創造力
4	「地域・社会集団にお ける健康状況の実態把 握と課題分析③」 食生活・栄養状態の調 査を実施し、解析と評 価コメントの作成を行 う	講義と実習、グループ ワークとディスカッ ション(google meet)	実習出席後の実施内容 を提出する	(予習) 食事調査法の特徴を把 握しておく (復習) 配布資料を確認し次回 の実習に備える	15	主体性 実行力 課題発 見力 規律性
5	「地域・社会集団にお ける健康状況の実態把 握と課題分析④」 食生活・栄養状態の調 査を実施し、解析と評 価コメントの作成を行 う	講義と実習、グループ ワークとディスカッ ション(google meet)	実習出席後の実施内容 を提出する	(予習) 食事調査法の特徴を把 握しておく (復習) 配布資料を確認し次回 の実習に備える	15	実行力 課題発 見力 発信力 傾聴力 規律性
6	「地域・社会集団にお ける健康状況の実態把 握と課題分析⑤」 食生活・栄養状態の調 査を実施し、解析と評 価コメントの作成を行 う	講義と実習、グループ ワークとディスカッ ション(google meet)	実習出席後の実施内容 を提出する	(予習) 食事調査法の特徴を把 握しておく (復習) 配布資料を確認し次回 の実習に備える	15	実行力 創造力 発信力 傾聴力 状況把 握力
7	「地域・社会集団にお ける健康状況の実態把 握と課題分析⑥」 既存資料を活用した地 域診断を行う	講義と実習、グループ ワークとディスカッ ション(google meet)	実習出席後の実施内容 を提出する	(予習) 既存資料を検索し、興 味のあるものをピック アップしておく (復習) 配布資料を確認し次回 の実習に備える	15	主体性 発信力 傾聴力
8	「地域・社会集団にお ける健康状況の実態把 握と課題分析⑦」 既存資料を活用した地 域診断を行う	講義と実習、グループ ワークとディスカッ ション(google meet)	実習出席後の実施内容 を提出する	(予習) 既存資料を検索し、興 味のあるものをピック アップしておく (復習) 配布資料を確認し次回 の実習に備える	15	主体性 実行力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「公衆栄養プログラムの作成①」 抽出された課題の解決にむけた事業計画の立案と目標設定を行う	講義と実習、グループワークとディスカッション(google meet)	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) 既存の公衆栄養プログラムを検索し、興味のあるものをピックアップしておく (復習) 配布資料を確認し次回の実習に備える	15	課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	「公衆栄養プログラムの作成②」 抽出された課題の解決にむけた事業計画の立案と目標設定を行う	講義と実習、グループワークとディスカッション(google meet)	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) 既存の公衆栄養プログラムを検索し、興味のあるものをピックアップしておく (復習) 配布資料を確認し次回の実習に備える	15	課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力
11	「公衆栄養プログラムの作成③」 抽出された課題の解決にむけた事業計画の立案と目標設定を行う	講義と実習、グループワークとディスカッション(google meet)	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) 既存の公衆栄養プログラムを検索し、興味のあるものをピックアップしておく (復習) 配布資料を確認し次回の実習に備える	15	主体性 実行力 課題発見力
12	「公衆栄養プログラムの作成④」 実施内容の検討と指導媒体の作成を行う	講義と実習、グループワークとディスカッション(google meet)	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) 既存の公衆栄養プログラムを検索し、興味のあるものをピックアップしておく (復習) 配布資料を確認し発表の準備をする	15	主体性 実行力 課題発見力
13	「公衆栄養プログラムの発表①」 各事業計画の発表を実施	実習、グループワークとプレゼンテーション(google meet)	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) グループで発表の練習を行う (復習) 発表内容をふりかえり、指摘された点を理解しておく	15	主体性 課題発見力 傾聴力
14	「公衆栄養プログラムの発表②」 各事業計画の発表を実施	実習、グループワークとプレゼンテーション(google meet)	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) グループで発表の練習を行う (復習) 発表内容をふりかえり、指摘された点を理解しておく	15	主体性 課題発見力 傾聴力
15	「公衆栄養プログラムの評価内容の発表とまとめ」 各班が実施した公衆栄養プログラムの総合的な評価結果の発表 公衆栄養プログラムの流れを体験したうえで、意見交換やふりかえりの発表を通じて、公衆栄養マネジメント理解の一助とする	実習、グループワークとフィードバック(google meet)	実習出席後の実施内容を提出する	(予習) これまでの実習をふりかえり、要点をまとめておく (復習) これまでの配布資料を確認し、内容の理解を深める	15	主体性 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力